

は誰のミスかは分らない。

昭和44年は己酉（つちのとのとりの）歳であった。この年の暦象年表（東京天文台発行・非売品）は、できあがったのを見ると己酉と印刷されている。これでは「へびとり」の歳である。こんな歳はない。この誤植は最終校正のあとで出版社側が己は巳の間違いと勝手に判断して天文台に無断で活字を入れ変えてしまったためであった。「自己の己(こ)と、おのれ、つちのと下に付き、すで(巳)にはなかば巳(み)はみんな付き」という覚え易いうたが昔から伝わっているのだから昔から間違いやすかった字には違いなからう。己巳（きし・つちのとのみ）という干支もあるからややこしい。似たような字では戊戌（ぼじゅう・つちのえいぬ）という干支もあり、しかも戊（じゅう）という似て非なる字もあるので間違っているのをよく見かける。

次は読み方の問題、「暦百科」には大安（たいあん）としてあるが、たいあんだいあんか？大体六曜は江戸時代には暦にのらなかったので当時の数多ある暦註解説書にもなかなか出ていない。古事類苑に「安政雑書万暦大成」とあって先勝（せんかち）、先負（せんまけ）、大安（だいあん）、赤口（じゃくこう）と仮名がふってある。また安倍泰邦が宝暦5年気朔暦で、大歳（だいがい）大陰（だいおん）歳破（さいば）などと迷信の読み方を示しているのを見ると割合濁音が多い。したがってだいあんと読んでも差支えなからう。初めから愚にもつかない迷信のこと、本人のすきずきに自分がもっともらしく思える方で読めばよい話で、先程の字の違いと同一の論ではない。

「万有こよみ百科」 A5 480 ページ 540 円  
 「数理科学」1月号 B5 128 ページ 600 円

学会だより

春季年会について

今春の年会は5月14日(火)から17日(金)までの4日間、東大理学部2号館（本郷構内・赤門脇）講堂で開催の予定です。

講演申込みは、『〒181：三鷹市大沢2-21-1東京天文台 中桐正夫』あてに3月23日までに必着するよう、規定の申込み用紙を用いてお送り下さい。

申込み用紙は、支部理事へまとめて送ってありますので希望者は返信料20円を同封の上、下記の理事へお申し出下さい。なお自分の講演の日時を早目に知りたい方は、申込みの際に返信用ハガキを同封されれば、プログラム決定しだいお知らせします。

記

北海道：坂下志郎：〒060 札幌市北八条西5丁目  
 北海道大学理学部物理学教室

- 水 沢：岡本 功：〒023 水沢市星ガ丘町 2-12  
緯度観測所
  - 仙 台：須田 和男：〒980 仙台市片平町  
東北大学理学部天文学教室
  - 東 京：中桐 正夫：〒181 三鷹市大沢 2-21-1  
東京天文台
  - 名古屋：村井 忠之：〒464 名古屋市千種区不老町  
名古屋大学理学部物理学教室
  - 京 都：上 杉 明：〒606 京都市左京区北白川追分町  
京都大学理学部宇宙物理学教室
  - 中国・四国：三沢 邦彦：〒760 高松市幸町 1-1  
香川大学教育学部
- ◇講演申込者で財政的理由により出張旅費の補助を希望される方は、支部理事に御相談の上、3月23日までに「東京天文台内日本天文学会理事長」あてに申し込んで下さい。なお48年度会費まで納入済みの方で、原則として連名の場合でもスピーカーであること、正式の給与をうけていない人（例えば大学院生など）に限ります。

1974年1月の太陽黒点 (g, f) (東京天文台)

1	1,	2	6	0,	0	11	4,	20	16	6,	23	21	—,	—	26	0,	0
2	1,	13	7	0,	0	12	5,	28	17	7,	24	22	3,	14	27	1,	2
3	1,	15	8	2,	11	13	4,	28	18	7,	25	23	3,	29	28	0,	0
4	1,	11	9	2,	15	14	4,	27	19	6,	31	24	2,	7	29	0,	0
5	1,	6	10	3,	13	15	7,	28	20	6,	22	25	0,	0	30	0,	0
															31	—,	—

(相対数月平均値: 28.9)

昭和49年2月20日	編集兼発行人	〒181 東京都三鷹市東京天文台内	森 本 雅 樹
印刷発行	印刷所	〒112 東京都文京区水道2-7-5	啓文堂 松本印刷
定価 200 円	発行所	〒181 東京都三鷹市東京天文台内	社団法人 日本天文学会
			電話武蔵野 31局 (0422-31) 1359
			振替口座東京 1 3 5 9 5